



ケルベロスと空の旅

THE SKYTRAVELER KERBEROS

Granblue Fantasy Fan Book

ケルベロスと空の旅

THE SKYTRAVELER KERBEROS

Granblue Fantasy Fan Book

あ、たま...
なんなのよ、もづ...
ヨリヨリ[えめーーー]
ミミ[...]
ここは...、魔羅か何かの宮殿。
あつちやある人とも、ハナヨウてる。



謎の書庫: 転移先はどことも知れない家屋。
妖しく光る魔法陣は果たして誰の手によって描かれたのか



ポート・ブリーズ群島

introduction

文化、経済の盛んな島。
風の聖晶駆ティアマトの加護により
心地良い風が吹く。



「ヨー、おもしろいよ！」
「ヨー、おもしろいわん……」「おもしろいわん……」
「ええ、おもしろいよ！ おもしろいよ！」
「おもしろいよ！」
「おもしろいよ！」

「ヨー、おもしろいよ！」
「ヨー、おもしろいわん……」「おもしろいわん……」
「ええ、おもしろいよ！ おもしろいよ！」
「おもしろいよ！」



面白いな話、全空一の謎商人だと思う。
いつでもどこでもスッと現れ必要な物資を提供してくれる。
ダジャレ上級者。

シェロカルテ

どんな方にも満足していただけるサービスを
提供できなければ一流の商人とは言えませんからねえ~。



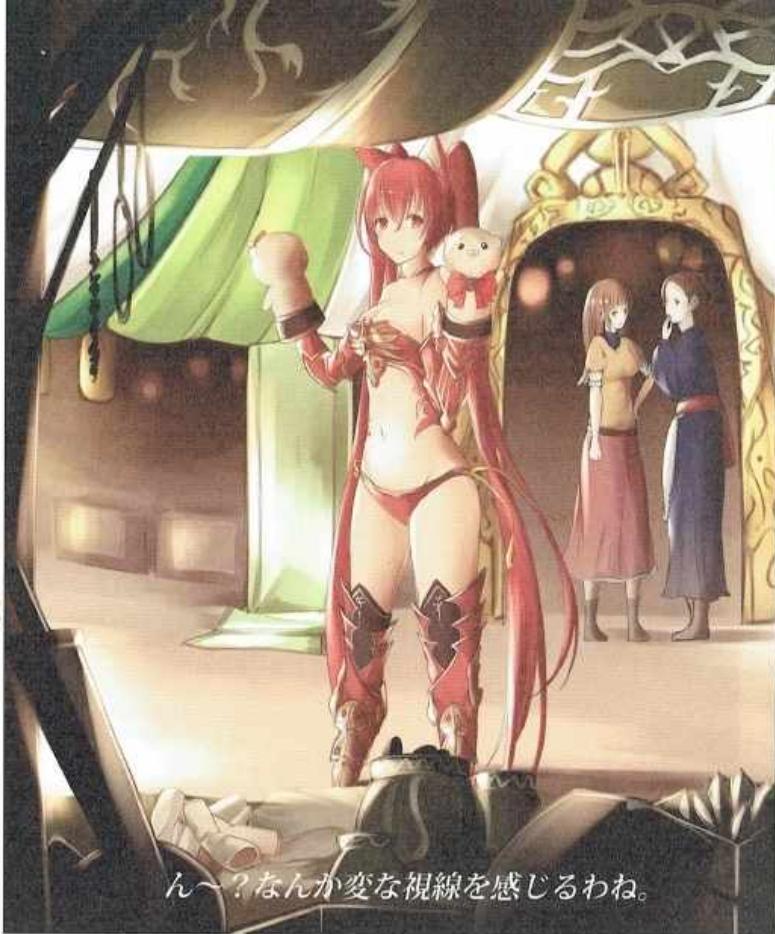
「ホント？」

「お国」のようですね～
「これはこれは失礼しましたあ～
シエロカルテと申します～
「あなた貴重いのひとつたちで御
販店が違うのね」

「うう、色んな方を見ましたから
ケルベロスさんのような異世界の方も
珍しくないんですね～」

「ふむ。仕事はアーマーとベルトでやるん
はその世界をそのまま手に入れたいのです。
それで、自分でもできるだけ、
自分で作るくらいのところです」
「こちあらの仕事で、はそこの施設
「頼む」と思わず思わず頼めます」
「なんとかしてもらいたいのですが、」
「お仕事ですか？」

「ほんとうによか～お任せください」



ん～？なんか変な視線を感じるわね。

街中では...

交易が盛んなポートブリーズでは様々な噂が飛び交うことも。
空域全土に留まらず、別世界の住人の情報あれこれまで。
一体どこから聞きつけるのか、ケルベロスのことも知れ渡っており...



ララ&ロロ

スキン購入画面に出てくるハーヴィン族の仕立て屋さん。
たぶん双子の女の子。
キャラスキンが出たとき以外は基本出てこない。もっと登場してくれないかな



製作中...



「はーへ、お運びへえー」「はーへ、お運びへえー」
「かがでやあけへー」「かがでやあけへー」
「かがでやあけへー」「かがでやあけへー」
「かがでやあけへー」「かがでやあけへー」
「かがでやあけへー」「かがでやあけへー」

あう！ ウサギ!!

ココ「待つわん!!」

普通に動物を引くって難しいなあ。

ミミ「どうして力を使わないわんか？」

そのほうが面白いでしょ!!

ココ「あーるるるーりー！ ほさうとするなわん!!」

動物が逃げるわん!!



ん～！美味しい～!!

この世界のヒト達はいつもこんな
おいしいものを食べているのかしら？

ココ「そんなことよりすっかり口が乾いたわん」
ミミ「ウサギ一匹にどんだけ時間かかるわん」
まあまあいいじゃない♪

それに獲物も人きいしなあなた達だつて、
なんだかんだ手伝ってくれたわけだし。

ココ「うるさいわん」

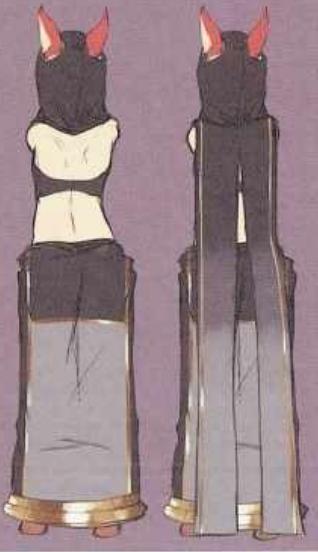
ミミ「別につまらないとは言つてないわん」
素直じやないんだから





ローブ

コンセプトは黒子です。
胸元のボタンや縫の脇は
元の體の部分を申し訳程度に
入れてます。フードや背中の感じは
エルーン仕様にしました。



インナー

作中では描写がありませんでしたが
この世界観ではケルベロスは
エルーンの旅藝人と言う設定です。
ココミミのハベットマベットという
モチーフをそのまま起用しています。

インナーデザインもエルーンの
ドエロい衣装を元にしています。
ツインテールは外したくなかったですが、
カモフラージュの一環として
ツーサイドアップにしてみました。



あとがき

はじめまして、成矢タカと申します。
個人での同人誌製作は今回が初めてだったので上手く出来たか少し心配です。

神バハ、グラブル、シャドバと多岐に渡り活躍してくれている
ケルベロスちゃんが主人公です。
平たく言えば空の世界を旅していく物語なのですが、
原作のケルベロスとは一風違った感じなので、見事に二次創作感丸出しちゃうね…。

今回はポートブリーズ群島編ということで、今後も別の島々を巡るストーリーを
本にしたいなあと考えています。中々一つの本の中で語りたいシーン全てを
出せていないのが悩ましいところですが、そういう部分も含め、
色々描いていきたいですね～。

ゲスト絵は神岡ちろるさんに描いてもらいました！たいへん可愛いイラストを
ありがとうございました！

それでは最後になりますが、この本を手に取ってくださった皆様方に感謝を！
また会う日まで、さようなら～

奥付

サークル：高鳴る屋。
著 者：成矢タカ Twitter(@TakanaruyA) PixivID(5027179)
ゲスト：神岡ちろる Twitter(@kami_shun0505) PixivID(2973000)
発行日：2016年12月29日
印刷所：株式会社グラフィック



